

献体による外傷手術臨床解剖学的研究会(C-BEST)

第1回愛知医大コース



愛知医科大学病院 高度救命救急センター

重症外傷による出血性ショックに対してはダメージコントロール手術を含む緊急外科的止血術が必要となることが多く、それを実践するAcute Care Surgeon(救急・外傷外科医)の養成が必要ですが、東海地方における教育・研修の機会は少ないのが現状です。愛知県重症外傷センター試行病院およびドクターヘリ基地病院である当院では、献体による外傷手術研修であるC-BESTを東海地方で初めて開催いたします。

日時: 2024年(令和6年)2月11日(日) 8時半～17時

【場所】 愛知医科大学医学部講義室(集合、講義), 同解剖学実習室(実習)

【運営】 コースディレクター 渡邊栄三 愛知医科大学病院救命救急科教授

内藤宗和 愛知医科大学解剖学講座教授

コースコーディネーター 苛原隆之 愛知医科大学病院救命救急科准教授(特任)

指導講師 本間宙 東京医科大学救急・災害医学分野教授 ほか

【対象】 外科専門医、外傷専門医、Acute Care Surgery学会認定外科医を取得済
orこれから目指す外科系救急医

※今回は初回のためセミクローズとし、愛知県重症外傷センター試行病院、外傷専門医認定研修施設等に所属する医師を優先させていただきます。

【内容】 2グループに分かれ、外傷手術に関する基本手技を実習を通して学びます

「1日間基礎コース」

外科的気道確保、蘇生的開胸術、胸部損傷修復、血管露出&修復、腹部臓器脱転、腹部損傷パッキング&修復or摘出、一時的閉腹法、筋膜切開など

※詳細はC-BESTホームページ参照

<http://cadaverbasedsurgicaltrainingfortrauma.kenkyuukai.jp/special/?id=30235>

問い合わせ先: 救命救急科 苛原隆之(いらはらたかゆき) t-irahara@aichi-med-u.ac.jp

★当科ホームページ: <https://aichi-med-u.com/>

